

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり11.67人の報告がありました。減少傾向ですが、注意報レベル(定点当たり10)を上回る水準が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.31人の報告があり、減少傾向が続いています。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

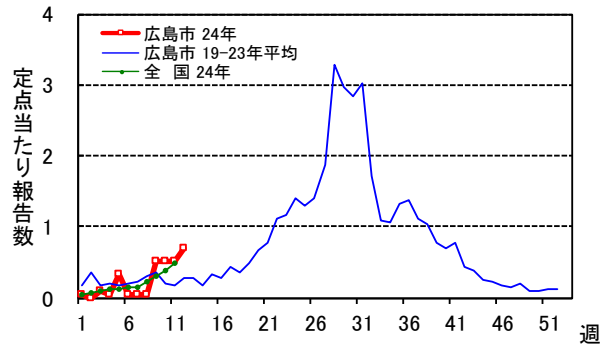
3 RSウイルス感染症

定点当たり0.70人の報告があり、前週と比べて増加しました。RSウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染です。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、特に生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。また、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A (厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html



RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	420	11.67	3.35	↗	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.04	
	新型コロナ(COVID-19)	83	2.31		↘		流行性耳下腺炎	-	-	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	16	0.70	0.28	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.39	0.17	↘		流行性角結膜炎	6	0.75	0.18	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.22	0.91	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	113	4.91	3.67	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	3	0.13	0.16			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	-	
	手足口病	3	0.13	0.04			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	
	突発性発しん	7	0.30	0.32							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	16	40歳代・市外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	7	60歳代、70歳代
5	ジアルジア症	1	1	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	50歳代
5	梅毒	4	34	20歳代・2人、30歳代・1人、50歳代・1人

